

4月・5月・6月 Event Schedule

日 付	イベント名	場 所	時 間
4月11日(日)	絵本でおはなし きゅーはくの絵本④「はらのなかのはらっぱで」の読み聞かせ	あじっぱ	14:00～
4月17日(土)・5月23日(日)・ 6月12日(土)	きゅーはくミュージアムコンサート	4月 ミュージアムホール 5・6月 エントランスホール	①13:00～ ②15:00～
5月15日(土) 6月19日(土)	ガムランワークショップ ※要申込(対象:小学生～高校生)、無料	5月 ミュージアムホール 6月 3階特別展示室前	13:30～15:30
5月16日(日)	第15回九博朝日寄席「藤兵衛、喜多八 二人会」 全席指定2,500円	ミュージアムホール	13:00開場 13:30開演
5月18日(火)～5月23日(日)	「生活の中のデザイン」九州クラフトデザイン協会会員選抜展	エントランスホール	9:30～17:00

※上記イベントは予定であり、予告無く変更する場合があります。詳細については、決まり次第ホームページでお知らせします。*一部、有料のイベントがあります。

あじっぱからのお知らせ 4月からあじっぱのイベント開催日が分かりやすくなりました。

なりきり考古学者 ・ 第2土曜日(要申込) >>>> 4月10日(土) 14:00～ 考古学者のお仕事体験

なりきり学芸員 ・ 第4土曜日(要申込) >>>> 4月24日(土) 14:00～ 学芸員のお仕事体験

申込方法 参加者本人の ①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号 ④参加希望ワークショップ名・日にちを明記の上、はがき・FAXにてお申し込みください。先着順で5名様まで。定員を超えた方のみ、参加できない旨のお断りの電話をいたします。

お問い合わせ・申し込み先 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 九州国立博物館 交流課 担当者:池内・古賀・村田
TEL.092-929-3289 FAX.092-929-3980 受付時間 9:00～17:00

※先着順で申し込みを受け付け、定員になり次第締め切ります。※いただいた個人情報はワークショップ以外の目的には使用いたしません。

Next Exhibition

馬 アジアを 駆けた二千年(仮称)

2010年
7月13日(火)～9月5日(日)

ユーラシア大陸を渡って伝来し、日本で独自に発展した馬の文化を考古資料や美術作品から壮大なスケールで描く展覧会。
馬と親しむいろいろなイベントも開催。



埴輪 馬(部分) 伝茨城県土浦市真鍋古墳群出土
古墳時代 九州国立博物館蔵

誕生! 中国文明展

2010年
10月5日(火)～11月28日(日)

没後120年 ゴッホ展(仮称)

2011年
1月1日(土・祝)～2月13日(日)

◎開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

◎休 館 日 月曜日 ※ただし5月3日(月・祝)は開館

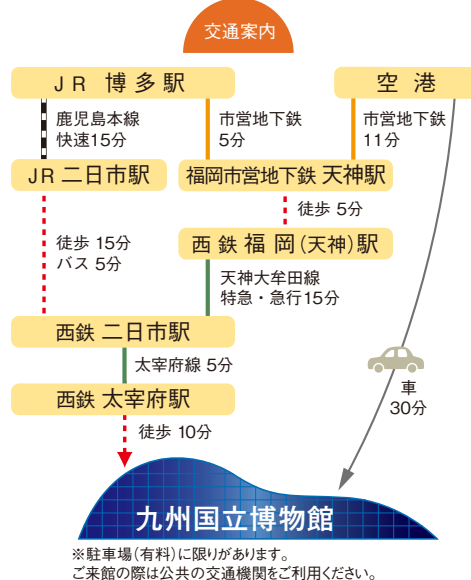
◎文化交流展観覧料(特別展は別料金) 一般:420円(210円) 大学生:130円(70円)

◎特別展「パリに咲いた古伊万里の華」観覧料

一般:1,300円(1,100円) 高校生・大学生:1,000円(800円) 小学生・中学生:600円(400円)

◎太宰府天満宮&九州国立博物館共通チケット 500円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金※障がい者とその介護者1名は無料。展示室入口にて障害者手帳等をご提示ください。*高校生以下及び18歳未満、70歳以上の方は、文化交流展示については無料。4階展示室入口にて年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。*特別展の観覧料で、文化交流展もご覧いただけます。*満65歳以上の方は、特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に年齢の分かるもの(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。キャンパスメンバーズの方は、特別展については()内料金でご入場いただけます。チケット購入の際に学生証、教職員証等をご提示ください。*特別展「パリに咲いた古伊万里の華」の開催期間は平成22年4/6(火)～6/13(日)です。*太宰府天満宮&九州国立博物館共通チケットでは「太宰府天満宮宝物殿」「菅公歴史館」「九州国立博物館文化交流展示室」がご覧いただけます。



九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

NTTハローダイヤル

ご案内 050-5542-8600

オペレーター対応。通話料発生。案内時間/8:00～22:00

九州国立博物館 検索 http://www.kyuhaku.jp



色絵花鳥文蓋付大鉢
1720～50年代
©USUI COLLECTION

日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念

パリに咲いた
古伊万里の華

2010 平成22年 4月6日(火)～6月13日(日)

パリの貴婦人の案内で コイマリの魅力に触れてみよう。

パリにあこがれているふたりの主婦が、パリを拠点にヨーロッパで集められたコイマリの器が九州国立博物館で紹介されると聞いてやってきました。
「ボンジュール! あこがれのパリ。お気に入りの香水もバッグもフランス製です。パリと聞けば、興奮してくるの。」
「わくわくしてきたわ。だって、あの『ベルサイユのバラ』の時代でしょ。」
さあ、ご案内するのはパリの貴婦人。一緒にまいりましょう。



「金の飾りが、すごい。いったい誰が作ったんですか。」
「これぞパリ! 日本のコイマリがパリの職人の手でロココの世界に変身よ。」

17世紀中頃から、東洋と西洋を結び付けていたオランダ東インド会社の商社マンたち。彼らが目を付けたおかげで、コイマリは世界ブランドになりましたのよ。バロック時代には豪華絢爛な金欄手が宮殿の壁を埋め尽くし、優美で繊細なロココの時代にはフランスの職人の手で優美な金の飾りをまとうていったんです。この八角の面取大壺は、そうした金色に輝く装飾が魅力的な作品でございます。把手やつまみは奔放な波の表現、台には海獣。ゴージャスでございますよ。

色絵桐鳳凰文八角蓋付大壺
(いろえきりほうおうもんはっかくふたつきたいこ)
(1730~60年代 ©USUI COLLECTION)



ドイツ・シャルロッテンブルク宮殿「磁器の間」

撮影: 津田 孝二

日本磁器ヨーロッパ輸出350周年記念

パリに咲いた 古伊万里の華

350 years of Japanese Porcelain Exports to Europe
Ko-Imari in Paris: Enchanting Beauty

2010 平成22年 4月6日(火) - 6月13日(日)



5つでセットよ。
並べると
すばらしいでしょ。

日本では、床の間に花瓶がひとつといったように一点ずつを鑑賞しますが、ヨーロッパの王侯貴族たちの間では宮殿の壁を磁器で覆い尽くすような飾り方も流行しましたの。この染付が綺麗な5点セットも、くっつけて飾れるような形をしているでしょ。

染付牡丹文蓋付大壺・大瓶
(そめつけぼたんもんふたつきたいこ・たいへい)
(1690~1730年代 ©USUI COLLECTION)

見て、見て、
ゴルトブルーの器が
ファンタスティック!

「お皿に紋章を入れるなんて!」
「貴族たちは、権威と名誉の証にと、我家のお皿に紋章をつけたのよ。」



色絵紋章草花文輪花皿
(いろえもんしょうそうかもんりんかざら)
(1700~40年代 ©USUI COLLECTION)

我家のマイ皿があるなんて、すごいでしょ。注文により欧州貴族の紋章を入れた皿で、18世紀後半によくみられましたの。この紋章は、オランダ・ドルトレヒトのVan der Meij家の紋章ですよ。金彩と赤と緑だけで飾り、金欄手のなかでは異色の作例ですわ。

「このお皿の人、
中国人みたいですね?」



色絵薬割人物文八角皿
(いろえかめわりじんぶつもんはっかくざら)
(1670~90年代 ©USUI COLLECTION)

そのとおりですわ。お皿の絵は、「水甕を割って子供を救い出す」という中国の故事「破甕救児」が描かれています。コイマリは、輸出を止めてしまった中国陶磁の代わりにオランダ人がヨーロッパへ運んだものでした。ですから、デザインも中国風だったんですの。17世紀の柿右衛門様式の時代までは中国風、18世紀の金欄手になると日本的なデザインも出てまいります。

「あら、不思議。この器は何ですか?」



色絵棕櫚草花文髹皿
(いろえしゅろくさばなもんひげざら)
(1700~30年代 ©USUI COLLECTION)



色絵鯉乗り人物形置物
(いろえこいのりじんぶつがたおきもの)
(1700~40年代 ©USUI COLLECTION)

ヨーロッパの要望に合わせ、調味料入れやビールジャグ、チョコレートカップなどが生まれましたの。左の写真は髹皿。皿の欠けた部分を額の下にあててようにして使いますの。18世紀前半から中頃には、鯉を主題にしたものがヨーロッパ向けにしばしば作られ、ユーモラスな右の写真の置物もそのひとつですわ。

講演会 ※事前申込、無料

- ① 14代 酒井田柿右衛門氏講演会
 - ② 大橋康二氏講演会「海を渡った古伊万里」
- 会期 講演会① 5月8日(土) 講演会② 5月22日(土)
時間 14:00~15:30 会場 1Fミュージアムホール
定員 各280名

親子で楽しむワークショップ ※事前申込、無料

- ① 「えをかこう、いろをぬろう」- 挑戦・古伊万里の技! -
 - ② 「金ピカにかざっちゃえ」- 大変身! 古伊万里ビフォーアフター -
- 会期 ワークショップ① 5月1日(土) ワークショップ② 5月2日(日)
時間 14:00~(1時間程度) 会場 1F研修室(和室)
対象 小・中学生と同伴の大人 定員 各10組

申し込み方法:

【講演会】往復はがきの「往信用裏面」に、講演会名・郵便番号・住所・氏名・電話番号、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記の宛先までお申し込み下さい。
【ワークショップ】往復はがきの「往信用裏面」に、ワークショップの希望日・郵便番号・住所・参加者全員の氏名(ふりがな)とお子さまの学年・電話番号、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記の宛先までお申し込み下さい。

〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞イベントサービス内
「パリに咲いた古伊万里の華」係 ※先着順に締め切ります。

問い合わせ: 西日本新聞イベントサービス内「パリに咲いた古伊万里の華」係
TEL.092-711-5491 (平日 10:00~17:00)

PICK UP 文化交流展示室

文化交流の歴史の中で日本の文化がどのように形成されたかを、約1,000件の文化財で紹介。ここではその一部を紹介します。



基本展示室Vテーマ

丸くなった地球、近づく西洋

九州陶磁の精華 田中丸コレクション

九州の老舗百貨店「玉屋」の社長を務めた故田中丸善八氏が生涯をかけて収集されたコレクションを紹介。4月6日からの特別展「パリに咲いた古伊万里の華」にちなんで国内向けの古伊万里を現在展示中。(6月6日(日)まで)



関連展示第8室

遣唐使とシルクロード

遣唐使船がはこんだもの

博多湾に浮かぶ遣唐使船の甲板が舞台。正倉院宝物の復元品などを参考に、遣唐使船の積荷を再現している。



あじばでご覧いただけます。

せうけいの絵本

『もうこのたからもの』(遣唐使) 1,050円(税込)

関連展示第2室

金子量重記念室 アジアの民族造形

半生をかけてアジア諸民族の生活文化の調査・研究と資料収集を行われた金子量重氏から寄贈いただいたアジアの民族造形を紹介。アジア諸民族が育んだ多様で豊かな生活文化に親しみ、理解を深めていただくきっかけとなれば幸いです。

文化交流展示室では頻繁に展示替えを行っています。作品の展示期間については、当館ホームページでお確かめください。

トピック展示スケジュール

トピック展示名称	開催期間	開催場所
白磁を飾る青 ー朝鮮時代の青花	4月13日(火)～2011年3月21日(月・祝)	関連展示第10室
湖の国の名宝 ー最澄がつかないだ近江と太宰府ー	6月11日(金)～9月5日(日)	関連展示第9室・第11室
茶の湯を楽しむⅢ 名品でたどる室町から桃山の茶	9月14日(火)～11月7日(日)	関連展示第9室
九博所蔵仏教美術名品展(仮称)	9月15日(水)～10月24日(日)	関連展示第11室
九州国立博物館の開館5周年のあゆみ	9月28日(火)～12月23日(木・祝)	基本展示室アプローチ付近
能面と能装束	10月27日(水)～12月5日(日)	関連展示第11室
螺鈿 美しき貝と漆の芸術	11月10日(水)～2011年1月16日(日)	関連展示第9室
邪馬台国 九州vs近畿(仮称)	2011年1月1日(土・祝)～2月20日(日)	関連展示第3室
田中丸コレクション(仮称)	2011年1月18日(火)～3月21日(月・祝)	関連展示第9室
日本の建築をめぐって	2011年1月21日(金)～4月3日(日)	関連展示第11室

九博学芸員に聞く!「トピック展示」鑑賞

トピック展示とは・・・「文化交流展示室」の関連展示室の一室を使い、テーマに沿った展示を定期的に行っています。



Part 1

国宝 琉球国王尚家関係資料 修理完成記念展示

琉球王国であった尚家は、成化六年(1470)に王となった尚円(しょうえん)から、明治12年(1879)の琉球処分により最後の王となった19代尚泰(しょうたい)まで、400余年にわたって王国を統治していました。これらの資料は尚家が代々継承してきたもので、沖縄県内での国宝第1号です。

琉球王国は1609年に薩摩に侵攻され、それ以降は薩摩の支配を受けますが、なお、独立国家としての体制を保ち中国とも独自の外交を行っていました。資料の中には、琉球と日本、琉球と中国の関係を語る外交史料も含まれていて、東アジアの文化交流史を物語る上で欠かせません。

また、資料が書かれている紙にも、中国から輸入されていた竹紙など、国際色豊かな特色がみられます。

このような貴重な資料群ですが、虫食いなどのため、頁を開くこともできないほど傷んでいるものもありました。平成21年度から継続的に保存修理を実施していく計画です。修理事業初年度に仕上げた資料を修理経過報告と共にご覧に入れます。



修理方針についての協議風景

修理を進めるのは、人の手術をするのと同じ。一点一点、修理技術者や研究者など、関係者が綿密な打ち合わせを行って方針を定めます。



唐御注文(修理前写真)

那覇市蔵
ひどい損傷を受けていますが、4月にはきれいになった姿でご覧に入れます。



Part 2

南蛮 津久見市所蔵の屏風と漆器

16世紀半ば、大航海時代の訪れとともに、日本とヨーロッパは貿易を開始します。当時ヨーロッパの商人たちは、東南アジアを経由して日本に航したため、南方からやって来た外国人という意味で南蛮人とよばれました。やがて、彼らによってもたらされた西洋の文物や風俗から影響を受けて生まれた絵画や工芸品などのいわゆる南蛮美術は、異国趣味にあふれた奇抜で美しいものとして、人々に大いに受け入れられました。

今回のトピック展では、当館所蔵品とともに、大分県津久見市が所蔵する南蛮美術の優品を特別にご紹介いたします。大分県津久見市は、大友宗麟の時代に南蛮文化を積極的に受け入れたことから優れた南蛮美術を収集してきました。特に南蛮漆器のコレクションは量・質ともに大変優れたものとして知られています。

近世初期をいろうとった、きらびやかな美術工芸品の数々を、ぜひご堪能ください。



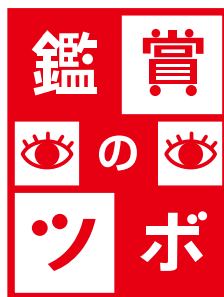
花鳥蒔絵螺鈿聖龕

安土桃山時代
九州国立博物館蔵



花鳥蒔絵螺鈿書篋

安土桃山時代 大分県津久見市蔵



もんしょうまきえかざりざら

紋章蒔絵飾皿

江戸時代 18 世紀 / 漆工

展示期間

5月11日(火)～6月6日(日)

展示場所

文化交流展示室V「丸くなった地球、近づく西洋」
関連展示第10室前 展示ケース

絵を愛でよう。

まわりの絵は日本の景色

江戸から富士までの街道筋のにぎわいが描かれています。当時の人々の様子や町や村、田畑、山道などが遙か遠い異国への好奇心を掻き立てます。



ここに富士山があります



旅行く人々の姿

技を愛でよう。

シックでありながら豪華絢爛

大きさ50cmほどの飾皿で帽子のように中が凹んでいます。日本にはない形で輸出用として作られました。文様は日本の伝統技術を代表する蒔絵で細やかに描かれており、高度な技が尽くされています。

まんなかの図はバシュリエ家の紋章

フランスノルマンディ地方の名家バシュリエ家のものとみられる紋章。日本の蒔絵と西洋の紋章の組み合わせの面白さをじっくり鑑賞してください。



舟に手をふる人の姿も

SHOPPING

新学期・新生活は、
九博の新オリジナル文具で。

九博に、かわいい小物がお目見え。手ぬぐい地のトートバッグとブックカバーは、肌触りがよく、汚れても洗うことができます。柄は、伊万里色絵栗文反鉢、ウンスンカルタ、為政以德印、兎の4種類。同柄の手ぬぐいもあるのでこの機会に揃えませんか？クリアファイルにもnewバージョンが登場。ファンには見逃せない一品です。



トートバッグ
Sサイズ1,260円
Mサイズ1,890円(各税込)
柄4種 / 写真 S:兎 M:為政以德印

右:ブックカバー 1,890円(税込)
柄4種 / 写真 右:ウンスンカルタ
左:古伊万里色絵栗文反鉢
左:クリアファイル 260円(税込)



九州国立博物館ミュージアムショップ TEL.092-918-8818【ショップ直通】

FOOD

パリに咲く華のようなお洒落な味わい。
特別展期間中ならではの春メニュー。



特別展に合わせ、「華」をイメージして博物館特製松花堂弁当をご用意しました。若鶏桜花巻き、筍饅頭、海老黄味煮など厳選の料理。

博物館松花堂弁当 2,100円



「コイマリ」にちなみ黒毛和牛の最高峰、伊万里牛のタリアータ。牛肉の旨味をシンプルに味わえる逸品料理。伊万里牛のタリアータサラダ仕立て(パンまたはライス付き) 1,980円

5/27(木)まで

オープンカフェでは、苺のロールケーキ、濃厚で冷たいフレッシュバナナジュースなど、九博の春だから楽しめる美味の数々をご用意しました。
◎苺のロールケーキ400円・バナナジュース450円

5月28日(金)～6月13日(日)
太宰府出身、フランスミシュランガイドで星を獲得した
松嶋啓介シェフの限定メニューが登場!!

レストラン・グリーンハウス TEL.092-918-7822

VOLUNTEER VOICE



来館された皆様に
「いい時にきたね」といわれると喜びも倍になります。

大きな展示会があるなか、さまざまなイベントを考え実行するのがイベント部会の仕事。来館の皆様になによりもこころ温まる触れ合いを感じていただければうれしいです。部員は6名と少ないメンバーですが、知恵やアイデアを出し合あってイベントが、成功すれば喜びもひとしお。また、よその

博物館のボランティアさんたちとの交流も楽しみのひとつです。毎年行っている新年の餅つきでは1000名の方に餅を配る事ができました。5月の「子どもの日」には昔遊びなどを企画中!ぜひ、遊びにきてください。

イベントのお問い合わせ
NTTハローダイヤル
050-5542-8600
オペレーター対応。通話料発生。案内時間/8:00～22:00

イベント部会代表
ボランティア
矢原 晃さん



体験型展示室

あじっば体験記

「なりきり考古学者」篇

「あじっば」は五感をつかって楽しめる体験型の展示室。日本と交流のあったアジアやヨーロッパ諸国の衣装や生活雑貨、おもちゃなどがズラリ。みて、きいて、かいて、さわって、いろいろな体験してみよう!今回は「なりきり考古学者体験」に参加してきたよ!

2 キャリパーを使ってうつわの厚さを測ります。



慎重に、慎重に... 2mm? 3mmかな??
目盛りを読むまなざしは真剣そのもの。

3 うつわの外形をマコで写し取ります。



上手く写しがとれたかな??

1 選んだうつわのサイズを測ります。



三角定規ってこんな風にも使えるんだね。

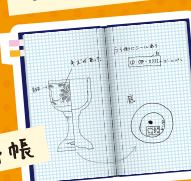
考古学者も使う道具を使って
資料の実測図を作ろう!!



4 模様や気がいたことも
野帳に書き込もう!



よし、できあがり!!!



体験の最後には、
本物の土器に
触らせてもらいました。

初めて使う道具には戸惑ったけど、
マコを使う作業は楽しかった。
他の形も取ってみようかな?
集中したらあっという間に
1時間たちった。

蒔絵【まきえ】

漆で文様を描き、その漆が乾かないうちに金や銀の粉を蒔いて付着させて装飾。これが蒔絵という技法です。蒔絵の技法は、平安時代に確立されたといわれ、仏様や神様の諸道具、公家や武家の身のまわりの品々を華麗に飾りました。また、日本の蒔絵は西洋では「ジャパン」と呼ばれ、大きな人気を博しました。

教えて!
学芸員さん!
用語辞典